

戦略計画委員会

〈2022-2023年度事業計画〉

委員長 永谷 敏

西協ロータリークラブの繁栄、発展に向けた長期戦略計画を立案、制定する。
立案、制定にあたり、2022-23地区ビジョンおよび戦略計画を明記する。

I. 地区ビジョン

『私たちはロータリーの「奉仕の実践」・「中核的価値観」を推進し、自らの人間力を高め、活気にあふれ、魅力あるクラブを目指し、地域社会や世界に持続可能な良い変化を生むために行動します。』

II. 地区戦略計画

① 会員増強

会員基盤の多様化を図り、地区全体の会員数を 3,000 人台に回復する

② 奉仕の実践

- ・クラブ奉仕 My ROTARY 登録 75%以上、IT 化の推進
- ・職業奉仕 地区の誇る職業奉仕の理念を継承し発展させる
- ・社会奉仕 全クラブが地区補助プロジェクトを実施推進
- ・国際奉仕 毎年 5 クラブ以上がグローバル補助金人道的プロジェクト、VTT プロジェクト、奨学金プロジェクトいずれか実施
- ・青少年奉仕 インターアクト、RYLA・青少年交換を積極的に推進し、ローターアクトとの連携を深め、次世代につなげる

③ 研修

中核的価値観を推進し、人間力を高める研修の充実、強化を図るよう努める
RLI の導入による有効かつ実効のある研修を推進する

④ ロータリー財団・米山記念奨学金の充実

地区運営方針に基づく寄付目標を達成するように推進する

西協ロータリークラブ戦略計画

- ① 会員増強
 - a) 60周年に向けて、より参加し易い、楽しいクラブ運営を目指す。
 - b) 会員数の維持を基本とし、新会員特に女性会員の入会を目指す。
 - c) 65周年に向けて、会員数60名を目指し、会員の職業業種の多様化を図る。
- ② 奉仕の実践
 - ・クラブ奉仕 地区戦略計画に準拠。
 - ・職業奉仕 地区戦略計画に準拠。
 - ・社会奉仕 地区イベント等への参加を促し、「奉仕の実践」を推進する。
 - ・国際奉仕 国際大会等への参加を促し、「中核的価値観」を養う。
 - ・青少年奉仕 インターアクトとの交流を深め、次世代育成に努める。
- ③ 研修 地区戦略計画に準拠。
- ④ ロータリー財団・米山記念奨学金の充実 地区戦略計画に準拠。
- ⑤ 立案・運用 戦略計画の立案・見直しは、RI 又は、ガバナーの方針等を考慮し、会長経験者により制定され、運用は、該当年度の会長・幹事・理事会が担当する。